小山市市民活動センター　コミュニケーションペーパー

おやま～る

23号
2024年2月

おやま～るの一言

今年度は様々なイベントが再開できるようになり、充実した活動ができたのではないでしょうか♪
来年度からの活動も楽しんでいきたいですね！

もくじ

・市民活動センターからのお知らせ
　2月と3月の事業
・登録団体紹介
　・個育てマム
　・小山の環境を考える市民の会
・リレーコラム
　「夜間中学を知って、多様な学びを考える」

リレーコラム

夜間中学を知って、多様な学びを考える

私が「夜間中学」に興味を持ったのは、大学2年生の授業でドキュメンタリー映画『こんばんはⅡ』を観たことがきっかけでした。「生き生きと学ぶ高齢者、徐々に前向きになっていく不登校経験者、日本で暮らす外国人の学びの場になっていること。」日本で義務教育課程を当たり前のように通過してきた私にとって、国籍も年齢も様々な人が学びに意欲的な姿と、日本に学びを必要としている人が数多くいるという現実に衝撃を受けました。

「夜間中学」に興味を持った私は、自主夜間中学についての卒業研究をしながら宇都宮の自主夜間中学の設置と運営、宇都宮と小山の自主夜間中学でのボランティア活動を行ってきました。

「夜間中学」は2種類あります。1つ目は、「公立夜間中学」。文部科学省の定めた教育課程を教員免許所持者が教え、週5日の授業を受けて卒業時に卒業認定書をもらうことができます。終戦混乱期に昼間の学校に通えない生徒のために教員が夜間に授業を行ったことが始まりとされています。現在、17都道府県に44校設置されており、県内でも設置の動きが始まりました。

２つ目は、「自主夜間中学」。市民がボランティアで自主的に行っている夜間中学です。近年、全国的に公立夜間中学設立の動きが広がっていますが、未設置地域においても学習の保証の場になっています。公共施設を借りて、週や月に数回の学びの場を設けています。ボランティアは、学生から教職をリタイアした人など年齢も様々です。

研究の際に、各地の自主夜間中学を訪問することもありました。学習者のニーズは、日本語の勉強をする外国人や現在不登校状態にある生徒、不登校経験などをもつ若い世代も多くなっており、日本語学校やフリースクールのような役割も担っているのだと思いました。そして、何よりも学習者がボランティアと楽しそうに学ぶ居場所になっていました。資格の勉強に取り組む若者や戦時中に学べなかった英語を熱心に勉強する高齢の方も。そのような誰もが自由に学ぶことのできる場所が必要であることを実感しました。「学ぶことは、生きること」という表現を使う夜間中学もあります。人と笑い合いながら自分たちが学べなかったこと、学びたいことにチャレンジすることは前を向いて生きる希望になっているのだと思います。

私は今も「NPO法人みんなの学び場おやま」のボランティアとして学習サポートを続けています。私は教員免許を持っているわけではありませんが、高校に進学した外国人生徒のテスト勉強や日本で生活するために日本語を勉強する外国人の方など、様々な学びを見てきました。彼らと学ぶ中で私も一緒に悩み、考え、気づきも多く、楽しい時間になっています。そして、そんな彼らを見ていると、私も知識を得ることや興味のあることに対して学び続けたい！という思いにもなります。

さて、2月25日（日）におやま～るで『こんばんはⅡ』を上映する「MOVIE de ダイアログ」を開催します。映画を観て、今の時代に合った「多様な学び」について話し合ってみませんか？

（小山市市民活動センター　服部 花菜 ）

コミュニケーションTOPICS

#小山でできる被災地支援（おやま～るＨＰにて情報まとめました）

2024年1月1日に石川県能登半島付近で地震が発生し、各地で甚大な被害が発生しています。多くの方が、避難生活をせざるをえない状況になっています。

被災地への支援として栃木県内及び小山市内でも支援物資の受付や義援金、支援金の募集の活動が行われています。
みなさんは、義援金と支援金の違いをご存じですか？

義援金
「被災者一人ひとりに分配されるお金」

小山市では、庁舎と各出張所で受け付けています。
小山市社会福祉協議会でも義援金を受け付けております！

【共同募金会】　令和6年1/5～令和6年3/29
【日本赤十字社】令和6年1/5～令和6年12/27

※1 義援金についての詳しい情報は、各HPでご確認ください。
※2 受付期間は、被災県の状況に応じて延長する場合があります。

支援金
「被災地を支援する活動に役立てられるお金」

【ご支援お待ちしております】
小山市市民活動センター おやま～るで「支援金BOX」設置しています！

窓口に設置中

【赤い羽根共同募金会】
令和6年1/12～令和6年3/29

おやま～るでは、被災地支援を行っている団体や組織を応援するためのお金（支援金）を集めて、赤い羽根共同募金会に寄付させていただきます。

避難所運営
「被災地にいる人を直接支援」

【協力者募集】

認定NPO法人とちぎボランティアネットワークで栃木から現地支援に行く人の募集を開始。

電話：028-622-0021

支援物資
「必要な物を被災地に届ける」

現地入りした他団体の協力の元、本当に必要な物資を市内の民泊施設でも受付けできる取り組みを小山市地域おこし協力隊を中心に実施しました。（1/20まで）

2024年度　ロッカー利用申請に関するお知らせ

多目的会議室にあるロッカーの利用申請の受付を行います。下記事項をよくご確認いただき申請してください。

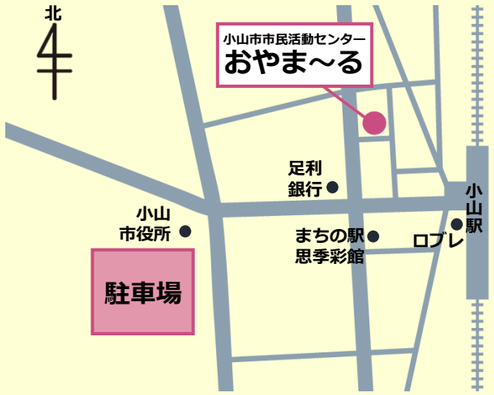
●ロッカー利用可能期間｜
2024年4月1日～2025年3月31日

●申請期間｜2024年2月15日～2024年3月20日

●申請方法｜指定用紙に記入し、窓口に提出する

●抽選の流れ｜
3/25（土）　13時におやま～るで公開にて決定します。
＊出席の必要はありません。
＊抽選終了後、順番に連絡いたします。
＊サイズ別に抽選します。

＊申請は、おやま～るの登録団体の内、社会貢献活動を行っている団体に限ります。
＊1団体につき1ロッカーのみ申請可能です。
＊今年度利用されている団体で来年度も継続利用希望される団体も申請が必要です。
＊継続利用を希望する団体は利用状況などを申請時に確認させていただきます。



おやま～る北側の駐車場利用は、高齢の方や妊婦、幼児連れの方、障がいをお持ちの方、大きな荷物等がある方に限定させていただいています。
一般の方は市役所の駐車場をご利用ください。

地域見える化情報庫

日本では、年間約600万トンもの食品が、まだ食べられるのにも関わらず廃棄され、国民１人当たりの食品ロスは、毎日お茶碗1杯のごはんの量(約300g)に相当すると言われています。一方、生活困窮者(経済的または社会的な問題から生活に困窮している人)は、相対的貧困率で15.7%に当たります(2015年)。フードバンクとは、食品製造業者や農家、家庭などから、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品の寄付を受けて食べ物に困っている方や福祉施設等に無償で提供する活動です。県内各地にあり、「とちぎコミュニティ基金」では、県内のフードバンクを応援するために寄付を集める「チャリティウォーク」を毎年実施しています。

地域見える化情報庫は、社会課題とそれに対する市や団体の取り組みをまとめた情報です。HPに記事を掲載しております。多目的室には20テーマの新聞の切り抜きファイルがあります。

小山市市民活動センター「おやま～る」（指定管理団体：ゆめ評定）

〒323-0025
栃木県小山市城山町3-7-5　城山・サクラ・コモンビル2階

開館時間　9：00～21：00
休館日　　年末年始（12/29-1/3）

Tel　0285-20-5562
Mail　info@oyamaru.net
HP　https://oyamaru.net

おやま～るHPはこちら

市民活動センターからのお知らせ

2月と3月の事業

小山市市民活動センター事業は
①HPの申し込みフォーム ②電話(0285-20-5562) ③来館にて受付

●いろんな人と出会い、交流したい人におススメ！

MOVIE de ダイアログ
夜間中学の映画にみる多様な学びのあるまちづくり

今の時代にあった「多様な学び」について夜間中学のドキュメンタリー映画「こんばんはⅡ」を観て一緒に語り合いましょう！小学生から一般の方まで大歓迎。

日　時｜2/25（日）10:00～12:00
場　所｜おやま～る研修室
映　画｜「こんばんはⅡ」
定　員｜30名程度
参加費｜無料

【チャリティ開催】
ボードゲームで民主主義を体験しよう！

様々な立場の人と共生を目指す現代社会。自分たちの意見や価値観についてボードゲームを楽しみながら考えてみませんか？中高生の主権者教育としてもおススメ！

日　時｜3/10（日）13:30～15:30
場　所｜おやま～る研修室
定　員｜30名程度
参加費｜500円～
（全額被災地義援金のチャリティ資金）
共　催｜スイミーワークス

おやま“つながり”の場
～小山で活躍する若者と世代を超えて交流しよう！～

小山市で活動している若者と交流しませんか？若者団体が「一緒に考えたいことや団体の悩み」を共有。地域活動をしている皆さんと一緒に話し合います。おやま～るインターン生企画！発表団体は現在調整中。新しい団体と交流をしたい方は是非！

日　時｜2/24（土）17:30～19:30
参加費｜無料
定　員｜15名程度
場　所｜おやま～る研修室

●市民活動に活かせる！レベルアップしたい人におススメ！

誰でも簡単にチラシが作れる！
デザイン作成ツールCanvaをはじめよう！

団体のチラシを簡単に作成してみませんか。

日　時｜2/17（土）13:30～15:30
場　所｜おやま～る研修室
定　員｜10名程度
参加費｜500円
持ち物｜パソコン、筆記用具
講　師｜服部花菜（おやま～る）

市民活動のためのSNS活用講座

市民活動に便利なSNSの基礎知識やLINEの便利な機能の使い方、SNSを使った情報収集法の紹介！

日　時｜3/13（水）13:30～15:30
場　所｜おやま～る研修室１
定　員｜5名程度
参加費｜300円
持ち物｜普段使っているスマホ

市民活動・自治会活動のための総会資料作成「はじめの一歩」勉強会

文字や数字を入力できる方なら、どなたでも大丈夫！ゆっくり楽しく、その都度確認しながら、サポーターと一緒に勉強しましょう！4回コースで、総会資料等のつくり方を学びます。

場　所｜おやま～る研修室
定　員｜10名程度
対　象｜自治会活動・市民活動をしている方
これから活動予定の方
持ち物｜パソコン（Windows10・Excel・Word）、USBメモリー
共　催｜PCサポーターズ

①理事会・総会の開催案内
日　時｜2/2（金）10:00～12:00

②現金出納帳について①
日　時｜2/16（金）10:00～12:00

③現金出納帳について②
日　時｜3/1（金）10:00～12:00

④決算報告書について
日　時｜3/15（金）10:00～12:00

教えて！！あなたの団体活動　登録団体紹介

個育てマム

「社会全体を大きな家にしよう！」というコンセプトでママの子育てを応援し、子どもたちが笑顔でいられる環境づくりをしています。

代表の黒木さんは、一人一人の子どもに寄り添った学びを模索する中で子育てカウンセラーの資格を取得。2016年から「個育てマム」を立ち上げて、それぞれの子どものタイプに合わせた育て方や学習の方法が大切であるという想いを「個育て」に込めて活動を続けています。

①毎月『個育てお茶会』を開催。子育てに悩むお母さん同士が情報交換のできる場づくりをしています。

②偶数月にはママと子どもの癒しのマルシェと題し、「スマイルマルシェ」を開催しています。自分の時間を持ちにくいママにも子どもブースを設けることで安心して自分の時間を作ってもらい、アロマやストレッチなど癒しのひと時を提供しています。

『夢みる小学校』上映イベント

Instagram

スマイルマルシェ

③2023年12月には、仲間と共に子どもファーストの学校をまとめたドキュメンタリー映画『夢みる小学校』を上映。2日間で子育て世代、教育関係者、県外から226人が参加しました。近年、不登校の数が年々増加しており、これからの教育の在り方について世間の関心も高まってきています。今後も上映イベントを計画中です。

頼ることは良くないことと思い、子育ての悩みや不安を一人で抱え込んでいるお母さんも多くいます。「子育ての大変な時期はみんなお互い様！」。そんな頼り頼られる関係性をこれからも地域でみんなと作っていきます。

代表　黒木 久美子さん

小山の環境を考える市民の会

皆さんは、1999年に小山市の企業が医療廃棄物を大量に不正輸出して国際条約に違反したこと、2000年に東黒田地区で不法投棄された産業廃棄物が火災を起こし1週間もの間、煙と悪臭被害があったという小山市で起きた２つの大きな環境問題をご存じでしょうか？

この問題を機に、市民として環境を守る必要性を痛感した有志で結成されたのが「小山の環境を考える市民の会」です。会は、「ごみは燃やさず、埋めず、減らすもの」を合言葉に市民の環境と生活に関する幅広い取り組みを行っています。

2023春講演会「渡良瀬遊水地の今
―ラムサール条約湿地登録から10年を迎えて―」

小山広域中央清掃センター見学会

HPはこちら！

設立当初から春と秋の年に２回、ゴミ処理問題や自然環境保護について専門家による講演会を続けています。近年では、カーボンニュートラルやマイクロプラスチックをテーマとした講演もあります。2006年には渡良瀬遊水地の「ラムサール条約湿地登録」に対する署名活動を実施し６年後に登録達成。環境保全のための外来種除去・清掃活動も積極的に行っています。環境問題に対して先手を打つために市のゴミ処理施設新設計画への意見提案とフォロー活動、容器包装を減らすための３Ｒの働きかけも欠かせません。また、最近は、クリーンセンターの見学と提言やスーパーマーケットの環境調査などの活動もしました。

環境問題は、時代と共に変化し取り組むべき課題も山積しています。それらの問題は日常生活と密接に関係しているからこそ、市民の皆さんの参加と意見が必要となります。会では、次世代の担い手が不足しているので、未来につなげるためにも仲間を募集中！

代表　楠 通昭さん

コミペ「おやま～る」は小山市市民活動センターの登録団体（代表者）にお届けしています。また、小山市内の公共施設や栃木県内の中間支援センターなど市民活動に携わる方が出入りする場所に置かせていただいています。